

第5回東久留米市事務事業に関する外部評価会議経過要録

室長	課長	主査	担当	担当			日時	令和2年11月16日(月) 午前9時30分～10時40分
/	/	/	/	/	/	/		
							場所	本庁舎 4階 庁議室
/	/	/	/	/	/	/		

議題	(1) 令和2年度外部評価対象項目（個別評価）に関する外部評価結果取りまとめについて (2) その他
----	---

出席者	委員
	1 朝日 ちさと    2 平井 文三    3 加賀田 淳子
	4 富永 弥生    5 野崎 林太郎
	説明員
	1 企画調整課長（道辻）
事務局	
	1 企画経営室長（土屋）                          2 行政管理課長（傳）

【企画経営室長】令和2年度第5回東久留米市事務事業に関する外部評価会議を開催させていただく。議題に入る前に、本日の出欠席者について課長から報告する。

【行政管理課長】本日の出欠席者の報告をする。本日は全員出席しており、定足数に達しているため会議は成立する。次に配布資料の確認を行う。

【行政管理課長】  
—配付資料の確認—

(1) 令和2年度外部評価対象項目（個別評価）に関する外部評価結果の取りまとめについて

【企画経営室長】それでは議題に入らせていただく。まずは、(1) 令和2年度外部評価対象項目（個別評価）に関する外部評価結果の取りまとめについてである。本日配付した資料については、第3回会議でお示しした外部評価シートに、第4回会議において所管課との質疑応答をさせていただいた中でのご意見等を事務局で整理し、「4 外部評価結果」の欄に記載したものである。本日はこの内容についてご意見等を頂きつつ、「4 外部評価結果」の内容を決定していきたいと考えている。その後、「5 外部評価結果に対する市としての方針」を市で作成した上で、年内に市内部の会議において、今年度の外部評価シートを最終決定していくことを予定している。それでは「4 外部評価結果」の内容について、課長より説明する。

【行政管理課長】本日は、配付している外部評価シートの裏面、「4 外部評価結果」について確定していきたい。事前に内容については確認させていただいているが、その後、窓口業務における電子化の取り組みに関して頂戴した意見について、事務局より追記をさせていただいた。改めて読み上げさせていただきます。

—「4 外部評価結果」を読み上げ—

【企画経営室長】課長より「4 外部評価結果」について説明させていただいた。これについてお気づきの点があればご意見をお願いしたい。

—意見等なし—

【企画経営室長】では、令和2年度外部評価シートの「4 外部評価結果」については、この内容で決定とさせていただく。また、先ほど説明したとおり、本シートは「5 外部評価結果に対する市と

しての方針」を市で作成した上で、年内に市内部の会議で最終決定していく予定である。その後は各委員へも共有のため本シートを送付させていただくので、よろしく願います。

【企画経営室長】それでは、(1)令和2年度外部評価対象項目(個別評価)に関する外部評価結果の取りまとめについては以上とさせていただきます。

(2)その他について

【企画経営室長】次に、(2)その他についてである。事務局から願います。

【行政管理課長】前回会議にて連絡させていただいた「東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」である。まず、来年度以降、総合戦略の進捗報告をさせていただき、皆様からご意見を頂くことについてだが、平井委員からのご指摘を受け、「東久留米市事務事業に関する外部評価実施要領」を改正し、外部評価の所掌として明記させていただく。改正後の要領については、内部の会議への報告を経て、委員の皆様にお示しさせていただく予定である。よろしく願います。総合戦略の改定について、所管している企画調整課長から説明する。

【企画調整課長】まち・ひと・しごと創生総合戦略について説明する。まずは、配付資料の確認を行う。

—配付資料の確認—

まち・ひと・しごと創生総合戦略について、前回の外部評価会議にて簡単に説明したが、改めて資料に沿って説明する。出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的として、平成26年度に国が「まち・ひと・しごと創生法」を制定したことに伴い、本市でも地方創生の取組みを進めるため、平成27年度に総合戦略を策定したものである。現行の総合戦略は、長期総合計画の計画期間とあわせて、一年延伸し、本年度末までが計画期間となっていることから、現在、総合戦略の改定作業を進めている。

—参考資料1の説明—

続いて、重要業績評価指標(KPI)について説明する。参考資料2の令和元年度「東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略」掲載事業の進捗状況確認表のように、総合戦略で掲げられている各基本目標の事業に対し、重要業績評価指標(KPI)を設定している。これまで、毎年の進捗状況の確認として、指標の前年度の実績値を集計したものを表にまとめ、これに対してご意見をいただきました。今後、外部評価会議にお願いしたい事項は、毎年のKPIの実績値より地方創生の進捗状況についてご意見をいただきたいと考えている。なお、来年度より外部評価会議のなかでご意見をいただきたいが、KPIの数値は前年度のものを集計し、評価する仕組みであることから、来年度は参考資料2として配付している現行の戦略のKPIについて、令和2年度実績値に対するご意見をいただきたいと考えている。現在策定中の改定版は、令和3年度から7年度までの計画期間なので、この改定版に係る実績値のご意見をいただくのは令和4年度以降となる。

【企画経営室長】企画調整課課長より概要を説明した。現在、第5次長期総合計画前期基本計画も策定作業中である。前期基本計画を踏まえながら総合戦略を整理していることから、この素案から表現や文言を変更する可能性があるが、全体構成としてはこのような形を考えている。今後の外部評価会議のなかで、ご意見をいただきながら進めたいと思っているので、よろしく願いたい。では、ご質問等あれば願いたい。

【委員】長期総合計画も策定中であり、これと整合性を持たせるためKPIも策定中とのことだが、外部評価との関係を教えてほしい。外部評価会議では事務事業に対する評価を行っているが、総合戦略のKPIはまた違った次元のもののように感じる。

【企画経営室長】基本計画にあるいくつかの取組みについて、KPIを設定していきたいと考えている。事務事業評価でも目標値を設定しているが、これは翌年度に向けた目標値である。総合戦略では、5年後を見据えた目標となるので、どのような指標がふさわしいか現在内部で調整中である。事務事業との関連としてはあるのだが、今回、具体的なKPIをお示しできず申し訳ない。

【委員】私は「まち・ひと・しごと創生推進懇談会」でも進捗状況の管理に携わってきたが、懇談会では、進捗管理というより、そもそもこの施策の評価をこのKPIで捉えることが適切なのかという議論ばかりであった。市がすでに設定したKPIに対し、この指標では評価できないという議論を5年間繰り返すようなことは、今回は避けたいと考えている。また、総合戦略は、長期総合計画からの抽出とのことだが、長期総合計画の下位計画ということとなるのか。その場合、長期総合計画自体で

進捗管理を行っているのに外部評価会議では何を行えばいいのか。もう一点、財政健全経営計画検討会議との関係性はどうするのか。以前、事務局へ財政健全経営計画における地域活力の向上の部分については、この総合戦略の担当にしてはどうかと提案したが、市としては、市の姿勢を示す文書としての財政健全経営計画からは外すことはできないとのことだった。外すことができないのであれば、財政健全経営計画と長期総合計画と総合戦略の地域活力の向上の部分について、リンクをとり、別個に進捗管理を行うことの無いように市が調整してほしい。

【企画経営室長】K P Iの設定については、現行の戦略では委員からお話いただいたような経緯があった。このことを踏まえて、適切なK P Iの設定を検討している。委員各位にはK P Iが固まった時点で改めてお示ししたいと考えている。総合戦略の位置づけについては、国より示された方針を勘案し、市として総合戦略として必要な取り組みを基本計画から抽出している。長期総合計画でのみこめる部分は多く、他市では長期総合計画と総合戦略を統合しているところもあるが、本市では該当する部分を抜き書きし、総合戦略として取りまとめるということで整理している。外部評価会議では、市の事業全般を評価してもらってきた。そうした意味からも、基本計画から抜き書きしている事業についても、ご意見をいただきたいというのが市の考えである。それぞれの策定目的が違うことを踏まえて、総合戦略については、5年先を目標としており、長期的な市の発展、人口減少に向けた広い視点でご意見をいただければと思っている。

【委員】総合戦略は長期の視点でとのことだが、財政健全計画の基本的な考え方も同じ5年のスパンで考えているのではないか。

【企画経営室長】財政健全経営計画は、長期総合計画を実現させるために下支えをするための計画と考えている。

【委員】最上位の長期総合計画を実現していくため、財政健全経営計画は骨組みの部分、筋肉にあたる個別事業で下支えをやっていくという一方で、総合戦略は長期総合計画の抜粋というと財政健全経営計画で地域活力の活性をどのように表現していくのかが見えない。

【企画経営室長】非常に難しい部分ではあるが、あくまでも総合戦略は国の方向性があり、それを東久留米市に当てはめると基本計画上どのような取り組みが該当してくるのかを整理し、目標としてやっていくものなので、財政健全経営計画とは目的が異なると考えている。ポイントとしては財政健全経営計画における活性化に向けた取り組みの部分の整理だと思う。今の段階で明確に回答をできないのは申し訳ないが、その目的が異なることから総合戦略にも財政健全経営計画にも必要な部分と考えている。

【委員】今ほどのやり取りを聞いていて、総合戦略は長期総合計画からの抜粋だと、長期総合計画を実現させる財政健全計画と重複する部分が出てくるのではと感じた。総合戦略策定の経緯や長期総合計画の抜粋になることは理解できるが、非常にもったいないと思う。総合戦略としての意義がきちんと見えるよう、仕事の創生や人口減少への寄与に対して、地域の関心や協力が進むような観点の工夫をしたほうがいい。

【企画経営室長】文言や見せ方の問題もあると思うので、表現を整理する。

【委員】現行の総合戦略の成果について評価や分析等をもっと具体的に見せてもらえると、改定にあたっての建設的な意見をもっと言えるのではないか。また、改定後の指標としては、市の成果というよりは、市民や事業者の視点からの評価指標が多いと評価する側としては見やすいと感じた。

【企画経営室長】目標に向けた数値としてどのようなものが相応しいか検討中だが、それによってどのような影響が出たかという分析については、市では現在できていない。一つ一つの事業に対し、細かく分析評価をしていくのは難しいが、全体的な評価として、当初の推計よりも人口減少が緩やかとなり、他市に比べ出生率も維持していることは一定の成果と考えている。

【委員】全部の事業について分析することはもちろん難しいが、民間の力を活用するのはどうか。例えば、上の原地区の企業の業績などの指標を吸い上げるなどの方法はあるのではないか。行政がコストをかけずに指標に対する評価を把握する方法はあると思われる。単に事業の実施の有無だけでは、戦略の評価としては不十分である。

【委員】参考資料2の進捗状況確認表について、令和元年度数値は調査未実施のものがあるが、これは次年度には載ってくるのか。また、これは市民に公表されているのか。

【企画調整課長】調査未実施のものは、毎年行っている市民アンケート調査からの数値であるが、令和元年度分調査は新型コロナウイルス感染症の影響により、調査自体を実施できなかった。このため、以降も令和元年度については、未実施のままという形になる。また、市ホームページに資料を公表し

ている。

【委員】この会議に参加するまで、このような取り組みをしていることを知らなかった。市民に対し、やっていることをもっと広報等でアピールを行っていったほうがいい。

【委員】参考資料2をみると、総合評価の数値目標の設定は市民の主観であり、KPIの設定は行政のアウトプット数値が多いことにギャップがあると感じた。このギャップを少しでも埋め、わかりやすい指標とするためには、できる範囲にはなると思うが、誰にどのような影響があったのか、誰がどのような利益を得たなどの情報があるといいのではないかと感じた。

【企画経営室長】調整したうえで改めて委員の皆さまに提示したい。他に意見はあるか。  
—意見等なし—

【企画経営室長】（2）その他については以上とする。

### （3）閉会

【行政管理課長】次に、次年度の予定についてである。現在検討を再開した財政健全経営計画検討会議にて基本方針（案）が策定された後、外部評価委員の方々には、財政健全経営計画実行プランについて意見を頂戴したいと考えている。次年度のスケジュールについて、第1回会議は、今年度と同様に7月に事務事業評価表に関してご意見を頂き、秋頃から3回程度に渡って次期実行プランの素案について意見を頂戴したいと考えており、来年度の外部評価会議は、計4回程度を予定している。このため、今年度の10月、11月に行った個別評価は、来年度は実施しない予定である。また、来年4月の市内部の会議で大まかな流れが決定されるため、委員各位にはその後に改めてご連絡させていただく。来年度もご協力いただけるよう、よろしく願います。

【企画経営室長】事務局からの説明は以上となる。委員から何かあるか。  
—質疑等なし—

【企画経営室長】以上で、本日の議題は、全て終了した。これで今年度の外部評価会議はすべて終了した。今年度の外部評価会議は、新型コロナウイルス感染症が流行する状況の中、ウェブ会議という方式での開催にご協力いただき、外部評価シートの作成をはじめ、事務事業評価表、財政健全経営計画実行プランに関しても、多くのご意見をいただくことができ、心より感謝申し上げます。また、先ほど課長からも話があったが、委員任期は2年間であるため、委員各位には来年度も外部評価をお願いすることとなる。今年度と同様に日程調整等ご協力のほど、よろしく願います。それでは今年度の外部評価会議を閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。

以上